シルバー 第99号

ところざわ

2007年7月25日

発行　社団法人
所沢市シルバー人材センター

編集　広報部会

〒359-1143
所沢市宮本町１－１－２

電話　04－2928－8695
FAX　04－2924－0630

ホームページアドレス
http://www.sjc.ne.jp/tokorozawa/

19年度定期総会

さわやかに晴れわたった5月23日（水）午後1時30分より、所沢駅東口前のくすのきホールで平成19年度定期総会が開催された。

出席者326名、委任状1千194名、合わせて1千520名と定足数に達し、盛大な総会となった。今年度からは様々の行事を会員が主体となり、センターと協調して行うことになり、司会を広報部会長の岩崎龍二氏が担当。議長には森澤弘氏が選任され、議事はスムーズに進行し、原案通り可決され、2時40分閉会した。

引き続き悠和会の総会が行われ、議長には小林多摩樹氏が選出された。

昨年度新設された悠和会は順調な滑り出しを見せていて、活発な質疑応答があり、最後に、役員の紹介が行われ、4時閉会した。

会員主導の初めての総会であったが、新年度は力強くスタートした。

その後の懇親会では広い会場で会員相互の交流が繁く行われ、賑やかな歓談で一層の親睦を深めた。

（詳細は2～3頁）

（中村記）

好評だった作品展

素人離れした作品は圧巻

㈳所沢市シルバー人材センター「悠和会」主催による会員作品展が5月17日（木）～20日（日）まで所沢市民第二ギャラリーで行われ、17日9時17分秋山理事長・田中実行委員長・森田専務理事・柏木会員によるテープカットが行われ同時に開場となった。永年にわたる創作活動を通して培った技術を駆使しての力作、書・絵画・彫刻・キルト・写真・手芸品など、出展者45名、87点が展示された。風景を編みこんだ「刺繍」作品を前にすると、草木の葉にざわめきを起こすような感動があり、滝から落ちる水流に肌寒さを感じた。いずれも普段目にすることが出来ない秀作ばかりであった。

来場者は約300名、最年少者は小学4年のお嬢ちゃん、会員が優しく説明していた。

家庭新聞に掲載され、所沢テレビでも取り上げられた。来年がたのしみである。

（小島記）

理事長あいさつ

秋山　脩

本日は、平成19年度所沢市シルバー人材センター定期総会の開催に当たり、ご来賓の皆様には、公務ご多用の中、ご出席を賜り誠に有難うございます。

また、ご参集会員の皆様には益々ご健勝にて、センター事業の推進にご尽力を頂き心から感謝申し上げます。

当センターも来年は30周年を迎えることになります。埼玉県で最初に設立された長い歴史の中で、発注者、市民など地域社会において高い評価を得ておりますことは、会員の仕事に対する真剣な姿勢と、高齢者らしい気配りなどが認められたものと思っております。

本日の総会には5項目の議案をご提案申し上げております。先ずは、平成18年度事業報告、収支決算であります。当該年度の受注高は約8億6千3百万円に達し、前年度に対して約5千万円の増額となりましたことは、ひとえに会員皆様の努力と協力の賜であり、厚く御礼申し上げます。しかしながら、その反面、事故も24件の発生をみており、なお一層の安全就業を皆様と共に図っていかなければなりません。

平成19年度の事業計画、収支予算につきましては、契約高8億5千万円、就業率は団塊世代の入会者の増加を見越した上で78％とし、努力目標と致しました。

シルバー人材センターでは様々な仕事に会員が就労しておりますが、あくまでも適正に、公平に仕事を分かち合い、助け合っていく事が求められております。また、本年度も各種講習会を開催し、発注者の多様なニーズに対応できるよう努力して参ります。さらに就業機会開拓創出員の積極的な就業開拓に一層の拡大に努める所存であります。以上が事業の概要でございます。

私共、元気な高齢者は「共働・共助、自主・自立」のスローガンを新しい時代に対応していくために、会員参加の積極的な運営を推進してまいります。また、時代もそれを求めておりますことから、昨年発足しました互助会組織「悠和会」においても、会員が主体となって様々な行事が企画運営され、参加会員の好評を得たところです。また、本日の総会開催にも色々とお手伝いを頂き、このような試みでの開催となりました。

当センターも創立30年近くになろうとしておりますが、会員の持つ貴重な経験と豊かな知識を活かし、そこに思いやりというスパイスを加え、会員同志の団結により私たちの街に光を投じて行こうではありませんか。

結びに、ご臨席賜りましたご来賓の皆様の益々のご健勝と、今後の一層のご支援をお願い申し上げますと共に、会員の益々のご活躍を重ねてご祈念申し上げ、総会開催に当たってのご挨拶とさせていただきます。

役員紹介

役職名	氏名
顧問	斎藤　博
理事長	秋山　脩
副理事長	田中文雄
〃	小林　晟
専務理事	森田勝治
理事	山口　博
〃	五社よし子
〃	押切辰弥
〃	九鬼春雄
〃	村上和枝
〃	橋本英世
〃	前田　元
〃	大坂秀吉
〃	山内康子
〃	貫井弘久
〃	小檜山正幸
〃	小野民夫
〃	鏡　諭
監事	粕川博扶
〃	大野　勉

総会のあらまし

第一部　センター総会

広報部会長岩﨑氏の司会により、田中副理事長の開会の言葉、秋山理事長の挨拶で始まり、続いて来賓の挨拶では、所沢市長代理の加藤副市長、秋田市議会議長、西山県議会議員からそれぞれ祝辞を頂いた。さらに出席来賓の紹介、祝電披露の後、議事に入った。

田中副理事長

森澤　弘氏

森田専務理事

議長に森澤弘氏（吾妻地区）、議事録署名人に米村英明氏（新所沢東地区）前村潔氏（柳瀬地区）、書記小島美代子氏（三ヶ島地区）両角博美氏（事務局主任）が選ばれ、5つの議題について審議された。

まず、平成18年度事業報告、収支計算書及び財産目録の承認（第1、2号議案）が上程され、森田事務局長兼専務理事より説明があり、契約金額5千万円（前年度比6％増）就業率78％と何れも順調に推移したと報告された。監査報告は監事を代表し、大野勉氏から「業務の執行状況は適正且つ決算書類は公正妥当である」とのお墨付きを頂いて2議案とも「異議なし」と承認された。

岩﨑広報部会長

続いて、平成19年度事業計画（案）（第4、5号議案）が上程され、小林副理事長より、契約高8億5千万円、就業率78％を目標にすること、また安全就業対策の推進・高齢者生活援助サービス事業の推進など、特に今年度は中長期計画の策定、設立30周年記念行事推進が折り込まれた10項目の実施計画案の提示。収支予算書では当期の収入8億7千6百6万9千円、支出9億2百45万1千円の内訳等が説明された。2議案とも異議なく承認され、全議案とも満場一致で原案通り可決承認された。

小林副理事長

五社よし子理事の閉会の言葉で、センター総会は終了。

五社理事

第二部　悠和会総会

陸浦孝之氏（中央地区）の司会で、議長に小林多摩樹氏（松井地区）、議事録署名人に米村英明氏（新所沢東地区）前村潔氏（柳瀬地区）、書記小島美代子氏（三ヶ島地区）両角博美氏（事務局主任）が選ばれ、配布された議案書に基づき議事に入った。まず、平成18年度事業報告、収支計算書報告書（第1、2号議案）が上程され、橋本幹事より設立初年度の活動経過等の説明があった、監査報告は荒畑監事から「適正且つ確実に処理されている」と報告された。2議案とも「異議なし」と承認された。

陸浦孝之氏

小林多摩樹氏

続いて、平成19年度事業計画（案）、及び収支予算書（案）（第3、4号議案）が上程され、前田幹事より詳細な説明がなされた。第5号議案の会則の一部改正について吉松幹事が説明。第6号議案の役員選任について提案、原案通り承認され、役員の互選により会長に渡邊光信氏が選出された。質疑では2、3質問があったが役員会で検討するとの事で了解され、4議案とも承認され、全議案とも満場一致で原案通り可決承認された。

最後に渡邊新会長の挨拶、そして悠和会の相談役に秋山脩理事長、伊藤政一氏の紹介があり、悠和会総会が終了。長時間に亘ったが無事にセンター総会、悠和会総会が終った。

（岩﨑記）

総会　会場風景

総会後の
懇親会風景

会員安全就業推進委員会

平成19年度事業計画

目標

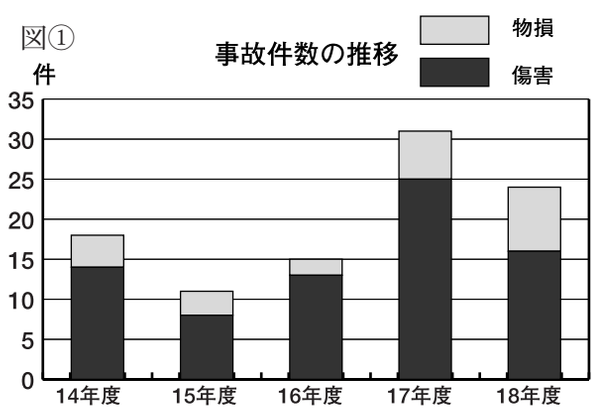
○就業における会員事故の撲滅
○安全就業意識の徹底

重点活動項目

・安全広報活動の強化
・安全パトロールの実施
・安全月間・安全週間の実施
・安全研修の実施

具体的には、18 年度に発生した事故を徹底的に分析し、改善策を検討し、事故を未然に防ぐべく活動します。下図①②のように、18 年度の傷害事故は 16 件で、17 年度より 9 件減りましたが、まだ高い水準にあります。今年度は傷害による入院事故をゼロに近づけるべく、全力をあげて活動します。会員の皆様は、就業途上の交通事故、就業中のケガは絶対に起こさないという強い決意のもとに就業をお願いします。

図①



事　業　部　会

平成19年度　事業部会事業計画

本年度事業目標 8 億 5 千万円 (契約高) ・78% (就業率) を達成するため、次の項目を重点に置き活動・推進する。

重点推進事項

(1) 就業機会の開拓と提供の充実・強化
　1）多岐に亘る会員能力を生かすべく各職種の就業開拓活動の展開
　2）未就業会員の把握と就業意欲向上のためのアプローチ
(2) 職群班の活動
　1)職群班の積極的な設置、及び組織体制の推進
(3) 組織の構築
　1)専門部会の再構築の推進
(4) 各種研修・講習の実施
　1)センター運営に関する研修等の推進
　2）就業に向け技能／技術等を取得するための会員講習会の推進
(5) その他
　1)悠和会活動への支援

図②

平成１８年度年齢別事故発生状況（件数）

年　齢	傷害事故			物損事故	合計
	就業途上	就業中	計	就業中	
60～64歳	2	3	5	2	7
65～69歳	2	3	5	4	9
70～74歳	1	3	4	2	6
75歳以上	1	1	2	0	2
計	6	10	16	8	24

＊＊規則を守り、適正で公平な就業を＊＊

就業適正委員会

19年度からは、新入会員が今まで以上に多くなることは、皆様もご存知のことです。従いましてシルバー事業の基本理念である「共働・共助」を踏まえ、より多くの会員が就業機会を得られるよう就業開拓と併行して、複数によるローテーション就業やワークシェアリングの仕組みなどをより一層促進しなければならないと思います。そして、先輩会員である私たちが率先して「センター就業の基本要綱」を守り、就業期限や年齢制限に該当する場合は、円滑に交替が行われ、就業の分かち合いができることが大切と思います。就業適正委員会は、規約に基づき、適正かつ公平な就業機会を会員に提供するため、努力を致します。

就業期限

◎ 就業基準に関する要綱の抜粋

（第4条、同一仕事内容で同一就業場所に、年間を通じて就業する会員の就業期限）

1、就業期限は原則1年とする。
2、就業期限の更新を繰り返すことのできる期限は、最長5年を限度とする。
3、同職種への再就職は、1年後以降とする。
4、前項の規定にかかわらず、発注者の要望（特殊技能、等）又は、就業を希望するものがいない場合は、就業適正委員会の裁定に委ね調整をすることができる。

理事会報告

平成１８年度(12回)理事会　　平成19.2.28（水）

審議事項 1. 正会員として入会の承認を求める件について
新入会員登録者22人、退会者17人・・承認

報告事項 1. 各部会、委員会活動状況について
2. 悠和会、会員作品展実行委員発足する。

平成１８年度(13回)理事会　　平成19.3.29（木）

審議事項 1. 新入会員登録者21人、退会者27人・・承認

報告事項 1. 各部会、委員会活動状況について
1）事業部会は研修交流のため富士見市人材センターを訪問。

平成１９年度(1回)理事会　　平成19.4.27（金）

審議事項 1. 新入会員登録者72人、退会者33人・・承認
2. 平成１8年度収支補正予算(第2号)について
1）事業活動収支の総額共に961,467円を追加とする。(提案理由) 収入増に伴う支出増に対する弾力条項適用による補正をしたものです。
3. 平成19年定期総会提出議案について

報告事項 1. 各部会、委員会活動状況について
2. 設立30周年記念行事実行委員会発足について

平成19年度(２回)理事会　　平成19.５.31（木）

審議事項 1. 新入会員登録者43人、退会者37人・・承認
2. 平成19年度事業部会事業計画の件・・承認

報告事項 1. 各部会・委員会、平成19年度事業計画の報告

登録会員動向(平成19.1.31～19.5.31現在)

登録会員動向	男	女	計
平成19. 1. 31. 現在	1,489人	618人	2,107人
平成19. 5. 31. 現在	1,530人	623人	2,153人

婦人部

平成19年度婦人部事業計画

次の項目に基づき活動する

- ●女性会員の増員推進
- ●センター普及啓発活動
- ●センターにおける会員相互の親睦

主な活動項目

- ●古布回収(回収箱を設置、随時受付)
- ●チャリティーバザー
- ●芋煮会（センター宣伝と女性会員増員の周知）
- ●女性会員増員のためのポスター作成・配布(地区役員と協力し市内各所に配置)

婦人部年間行事

月	内　容	月	内　容
4	第1回リーダー会	10	第4回リーダー会
5		11	第5回リーダー会
6	第2回リーダー会	12	第6回リーダー会・芋煮会
7	第3回リーダー会	1	第7回リーダー会
8	(社会見学)	2	チャリティーバザー
9		3	第8回リーダー会・三役会

つゆくさの身の
ひかるもの
つゆ知らず
小さな水玉
きらりとひかる

沓澤　勝美

広報部会

①　活動計画

「シルバーところざわ」を年度内に4回（1月、4月、7月、10月の各25日発行）、「シルバーところざわ・号外」を必要に応じ随時発行。

②　19年度の方針

1、公共機関を通じ、「シルバーところざわ」を積極的に紹介。広く市民の理解を得るようにする。

2、インターネットを利用し、ネット上でＰＤＦファイルにより、幅広く紹介する。

3、部会員は、地区懇談会・講習会・職群班・その他会合等にも参加するよう努め、会員の意見や要望等を収集して誌面の充実を図りたい。

4、部会員のパソコン作業での原稿まとめ、レイアウト作業が技術的にも進歩しており、今後も積極的に取り組み、編集作業の効率を目指す。

おじゃましまーす 職場訪問記（40）

所沢市の屋外体育施設は6箇所あり、センター会員がサッカー、野球、テニスなどの受付・管理・整備作業に就業している。

今回は北野と滝の城運動公園を取り上げた。

北野運動公園

11時少し前に雨が降り始めた。再開できる目処が立たないほどの雨になりそうだ。「やりっぱなし」だからな・・・つぶやきながら、コートに出してあるブラシを片付けに出かける。10面に2個ずつのブラシとライン出し、30個の備品を倉庫に片付ける。雨の場合、プレイヤーはコートから去るが、備品の跡かたづけはしない。

テントで雨宿り歓談を楽しんでいた女性のグループも三々五々解散、コートの周辺から人影が消えた。今日は函館さんが受付の、青木さんは補助の役割、お二人でテニスコート、サッカー、野球の受付と清掃などを行っている。

勤務は朝5時30分からだが5時ごろから作業を開始しないと、一番で来られるプレイヤーの方々に対応できない。10面のコートのネットの高さをメジャーで調整、一日の最後には緩めておく。

補助作業を担当する場合は、草取りを兼ねて、一日に1万歩以上は歩くことになる。

5人の仲間との気の置けないお話が楽しいこと、早朝5時の一人出勤は不気味でちょっと気が引ける。自動販売機荒らしもあったらしい。

話をしているうちに作品展の話などに発展、函館さんは木工を趣味とされているとの由、出品することを検討されることになった。

滝の城公園運動場

所沢市の東端、狭山丘陵の一角が低地に向かって落ちる急な崖上には滝の城本丸之址史跡がある。急な坂を下ると木立に囲まれた野球場とテニスコートが広がる。緑まぶしい桜やユリノキの林の向こうには鮎が遡上する柳瀬川が近く、武蔵野線が走る。後方には竹林、葉がさらさらと竹の子達の上に降り注いでいる。

竹が枯れているよ！と教えてくれる方が多いそうだが、竹は春に紅葉し、落ち葉を散らし、同時に新しい葉が生えることを説明するとの由、加藤さん、中田さんとに教えていただいた。テニス場5面、野球場の管理を2名ずつ5名のメンバーが交代で行っている。平日だが全てのコートで大勢がプレーを楽しんでいる。80歳すぎたプレイヤーもいらっしゃるそうだ。クレーコートなので雨後、乾燥するのを待ってブラシがけ、線だし、ネットの調整、とコートを整備しなくはならない。相撲の土俵と同じ土を固めてあるそうで、プレイヤーには優しいコートに違いないが裏方さんにとっては重労働。

管理棟の近くにはクスノキ、竹の落ち葉がどんどん落ちてくる、お話を伺っている間も手を休めない、花壇の手入れもされている。

（阪口記）

薄学駄話（はくがくだわー）

『大盤振舞』

ふだん何気なく使っている言葉のその意味や語源について意外に本当のことを知らないことがあります。**大盤振舞**は「待ちに待った初孫が生まれた嬉しさに、親戚や友人を呼んで大盤振舞」等、気前よくご馳走することを意味しますが、正しくは**【椀飯振舞（おうばんぶるまい）】**です。**【椀飯】**とは椀に盛った飯という意味にも使われて、王朝時代に公卿（くぎょう）たちが殿上に集まった時の膳の意味に使われ、鎌倉・室町時代になると、椀飯は年頭や慶賀に将軍家へ大名が祝膳を贈る儀式になりました。この風習は室町中期から廃（すた）れて江戸時代には、民間で正月に宴（うたげ）を催すことを**【椀飯振舞】**と呼ぶようになり、その後今の意味に転じて『**大盤振舞（おうばんぶるまい）**』の当て字が生まれました。今も関東のある村では年始に来た人々を供応することを言い、また埼玉の一部では正月に人を呼んでご馳走することを、単に『おうばん』と呼んでいます。

（田中記）

Q＆Aコーナー

会員からの質問にお答えします。

Q. 就業開拓創出員が就業開拓をする場合の留意点ついて教えて下さい。

A. 当然のことながら開拓する就業は、地域社会に貢献するものや喜ばれる就業を中心に、日常生活に密着した臨時、短期のもので軽易な仕事であって、適材適所を心掛け高年齢者向きの就業としてふさわしいものである事、また、会員の就業に対する希望状況にできるだけ沿うものを重点的に開拓する配慮を行なっていますが、受注した就業に応じることが出来ない場合（ミスマッチ）もあります。

また、開拓に当たっては、センター事業の趣旨・目的から長期的な雇用関係下での就業とならないような仕事や危険・有害な就業は受注しておりません。

是非、現在未就業会員の方は積極的に事務局へお出掛け頂き、就業相談をして下さい。

＊疑問、質問等お待ちしています。

悠和会たより

会長に就任して

渡邊　光信（新所沢東地区）

悠和会は、センター事業の就業事業と共に会員相互の交流・親睦を図るうえで、極めて重要な役割を担っています。今般、会長の大役を引き受けるに際し、

1、センター事業と悠和会の活動とが車の両輪のように機能し、来年30周年を迎える当センターを名実とも県下一の人材センターとなるよう役員一同、力を合わせ運営していきます。

2、会員皆様には、積極的に行事への参加およびサークル活動の発展にご尽力いただき、一人ひとりが豊かな生きがいの場を体験する会にしていただきたい。

3、相談役に秋山脩理事長、伊藤政一氏（前親睦会々長）にお願いしました。

会員皆さんと共に歩む「悠和会」の定着化を目指しますので、皆様の暖かいご指導・ご鞭撻をお願いし、就任のご挨拶とさせていただきます。

● サークルからのお知らせ ●

悠和会では、会員の親睦を図るための活動の場として、サークルへ気軽に、また積極的に入会をお願いしております。

カメラ、カラオケ、ゴルフ、小旅行、
太極拳、社交ダンス、ボウリング、手芸、
歌の会「ひまわり」、植物を楽しむ会、
しろがね吟詠会、所沢悠々詩吟の会、
さわやか体操、　**現在１３サークル。**

＊　**新規サークルも受け付けています。**

あとがき

会員からの寄稿募集！

テーマは、「シルバーでの体験談、エピソード」で、苦労話、面白い話、他の会員にも役立つ話など、気軽な気持ちで寄稿してください。

寄稿文には、会員番号・氏名・地区名を明記の上、センター広報部会宛に持参もしくはＦＡＸ、郵便でお送りください。

◆広報部会では以前から、センター内第一会議室入口左側に**「ご意見箱」**を設置していますが、ご存知ない会員の方もおられるので、改めてお知らせします。

この**「ご意見箱」**には、会員の皆様からご意見、要望などを募っております。シルバー人材センターの向上につながるご意見をご遠慮なくお寄せください。

特に新入会員からのシルバーへの感想や希望をお聞かせください。それらをセンターの運営などにも反映できるように活用したいと考えます。

（岩﨑）

《シルバー豆宣伝》

★シルバー人材センターとは・・すでに勤めをやめた方や家業を後継者に譲られた方など、もう就職する事は望んでいないが、健康の為、生きがいの為、何か仕事をしたいという高齢者の皆さんが集まって、民間企業や一般家庭、行政機関等から高齢者に向いている仕事を引き受けて働こうという団体です。

★働くと言っても、生活をしていくための収入を得る為ではなく、技術や経験を活かしながら働く事によって、高齢者の生きがいを高め、健康な日々を過ごしていただくと同時に、地域社会の発展に貢献してもらおうというものです。

★シルバー人材センターは単なる同好者のグループではなく、公共的な性格を持つ社団法人で、営利を目的としません。

こんな仕事をしています

・看板（レタリング）、毛筆、筆耕など
・一般事務、経理事務
・福祉・家事援助サービス
・屋外の簡易な作業
・室内作業
・簡単な大工仕事、修理修繕
・その他
※高齢者に出来る仕事であれば是非ご相談ください。

お知らせ

☆健康相談日

8月16日（木）午後
9月20日（木）午後
10月18日（木）午後

☆就業相談日

毎週水曜日(午後1時～3時)就業相談を実施しています。
・未就業会員の方は是非、ご相談ください。

☆悠和会事務局より

悠和会の事務局員として吉井睦会員を迎えました。月水金は10：00～12：00及び水曜日の13：00～15：00の間、常駐しておりますので、会員の皆さん気軽にセンターへお出かけ下さい。

雨に咲く
庭の紫陽花色深し
小手指地区　近藤宗一

会員親睦旅行のご案内

上諏訪温泉

今年の悠和会主催の旅行のみどころは、大河ドラマ「風林火山」ゆかりの地、武田神社や川中島古戦場そして「甲斐の国　風林火山博」などを訪れます。日頃の忙しさを忘れ、皆様方の親睦を深めて頂き、楽しい旅行にしたいと思います。皆様のご参加をお待ちしております。

◆旅行実施日
9月18日（火）～19日（水）

◆宿泊地
長野県上諏訪温泉　ホテル紅や
諏訪市湖岸通り2―7―21

◆旅行会費
2万円　申し込み時に旅費(全額)を添えて窓口にお越しください。
※分割の場合は
申し込み時に1万円。
残金1万円は8月25日～30日までにご持参下さい。

◆募集人員　120名
(定員になり次第締め切らせて頂きます)

◆バスにて各地区よりセンターに集合。　8時30分頃出発